

平成28年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第1学年 理科 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		粒子	中1	(2)ア(イ) 気体の発生と性質	二酸化炭素の発生について、理解していること。				○	○	
②		(2)		粒子	中1	(2)ア(イ) 気体の発生と性質	二酸化炭素が水に溶けるようすについて、粒子で表したモデル図で表現していること。		○				○
③		(3)		粒子	中1	(2)ア(イ) 気体の発生と性質	二酸化炭素そのものが水に溶けることを確かめる対照実験の方法を見いだしていること。		○				○
④		(4)		粒子	中1	(2)ア(イ) 気体の発生と性質	二酸化炭素と空気の密度の違いを利用してできる実験を見いだし、結果を予想していること。		○				○
⑤	2	(1)		粒子	中1	(2)ウ(イ) 物質の融点と沸点	沸騰石の名称と実験で使用する目的を説明していること。			○		○	
⑥		(2)		粒子	中1	(2)ウ(イ) 物質の融点と沸点	蒸留で最初に取り出せる物質は、沸点が低いことを理解していること。				○	○	
⑦		(3)		粒子	中1	(2)ウ(イ) 物質の融点と沸点	蒸留の実験装置から、焼酎の蒸留装置の図を推論し、示そうとしていること。	○					○
⑧	3	(1)		粒子	中1	(2)イ(イ) 溶解度と再結晶	実験方法とグラフを読み取り、再結晶が可能なビーカーを指摘できること。		○				○
⑨		(2)		粒子	中1	(2)イ(イ) 溶解度と再結晶	溶解度のグラフから再結晶する量を読み取り、表現していること。		○				○
⑩		(3)		粒子	中1	(2)イ(イ) 溶解度と再結晶	冷却以外の再結晶の方法について、理解していること。				○	○	
⑪	4	(1)		生命	中1	(1)イ(イ) 葉・茎・根のつくりと働き	単子葉植物の根のつくりを理解していること。				○	○	
⑫		(2)		生命	中1	(1)イ(ア) 花のつくりと働き	被子植物の花のつくりを理解していること。				○	○	
⑬		(3)		生命	中1	(1)イ(ア) 花のつくりと働き	アブラナとムギの花を比較し、ムギの子房やムギが被子植物であることを読み取ることができること。		○				○
⑭		(4)		生命	中1	(1)ア(ア) 生物の観察	顕微鏡の基本的な操作を身に付けていること。			○		○	
⑮		(5)		生命	中1	(1)イ(イ) 葉・茎・根のつくりと働き	植物のからだのつくりについて進んで関わり、身近な生活と関連付けようとしていること。	○					○
⑯	5	(1)		地球	小6	B(4)イ 土地のつくりと変化	地層の中の石の特徴と地層が堆積した環境を理解していること。				○	○	
⑰		(2)		地球	小6	B(4)イ 土地のつくりと変化	モデル実験による、地層のでき方を理解していること。				○	○	
⑱		(3)		地球	小6	B(4)イ 土地のつくりと変化	地層のでき方と地層の中に含まれているものを理解していること。				○	○	
⑲		(4)		地球	小6	B(4)ア 土地のつくりと変化	他の場所の地層のスケッチを基に、地層の重なりを図示できること。			○		○	
⑳		(5)		地球	小6	B(4)イ 土地のつくりと変化	地層の観察結果を基に、適切に考察し表現していること。		○				○

※ 網掛けの問題は、過年度の調査において課題が見られた内容の改善状況をみる問題として出題しています。